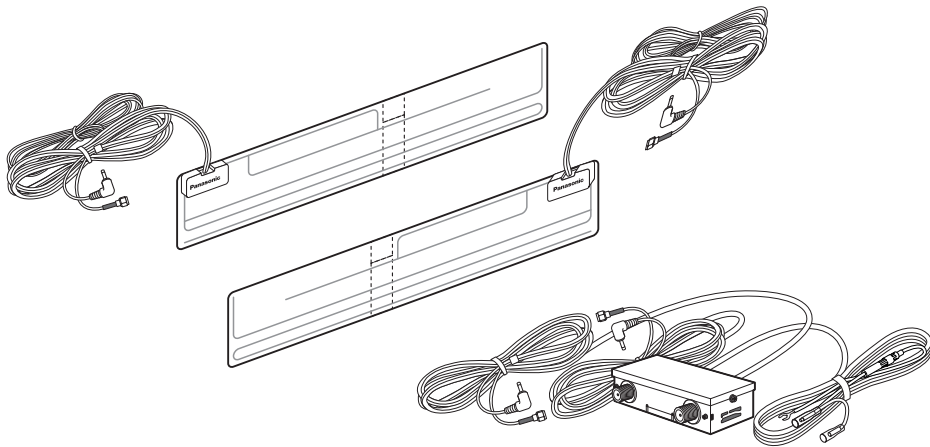


Panasonic®

取付説明書

ダイバーシティアンテナ
(地上デジタル・アナログ共用：車室内フィルムタイプ)

品番 **TY-CA350DAF**
(DC12V車用)



このたびはパナソニックダイバーシティアンテナをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(2~4ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

松下電器産業株式会社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号
(サービス担当) (0466)34-2757

2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

TQBA0506
KY0406-0

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

注意 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

禁止 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

指示 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

運転や視界の妨げになる位置に取り付けない

禁止 前方・後方の視界の妨げになる位置など、運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因となります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください

禁止 ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

配線・取り付け／取はずしは、専門技術者にご依頼ください

指示 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

●安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

分解、改造はしないでください

禁止 火災や感電の原因となります。

分解禁止

警告

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめてください



車の電装品（ブレーキ・ライト・ホーン・ハザード・ウinkerなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しないでください



煙りが出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付けてください



車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナス⊖アース車で使用してください



DC12Vマイナス⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車(DC24V車)には使用できません。火災や故障の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください



あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

正しく配線を行ってください



誤った配線をするると発火や事故の原因となります。特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まないように整形し、固定してください。

はずれたり・落下しないように、しっかり取り付けてください



ねじがゆるんでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

警告

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください



バッテリーのマイナス⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れないでください



感電の原因となります。

接触禁止

注意

車載用以外には使用しないでください



車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけないでください



ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

必ず付属品や指定の部品を使用してください



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

決められたヒューズを使用してください



必ず規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

はり付許容範囲内に取り付け



国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法（はり付許容範囲内）にはり付けしないと、道路交通法違反となります。はり付許容範囲内については、本書の「はり付ける位置について」をご覧ください。

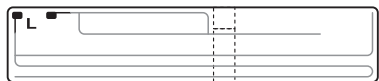
構成部品一覧表 (取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが付属されています。設置、接続の前にご確認ください。

()は個数です。

万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店までご連絡ください。

フィルムアンテナ [左] …………… 1枚



フィルムアンテナ [右] …………… 1枚

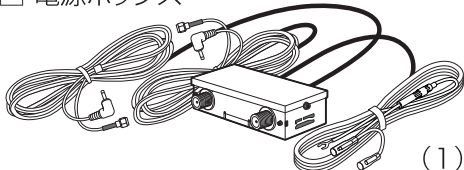


アンプ [左]



(1)

電源ボックス



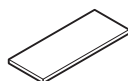
(1)

アンプ [右]



(1)

固定用シート



(1)

ケーブルランパー



(6)

クリーナー



(1)

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取付説明書のイラストや画面はイメージであり、実際と異なる場合があります。

次のようなところでは、映りにくいまたは、映らないことがあります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機が通過または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- 放送局から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立ちの影に入った場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 自動車、バイク、高压線、ネオンサイン等の近くを走行している場合
- ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行している場合
- 車両の搭載機器(※)が動作している場合ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。

※:電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプ、電動カーテン、電動サンルーフなど。

お客様へのお願い

- このアンテナは、パナソニック車載用デジタルチューナー・カラーテレビ専用です。
- このアンテナはフロントウインドウはり付け専用です。フロントウインドウ以外の場所には、はり付けしないでください。
- はり付け・配線をするために、フロントウインドウ周りの内張り(ピラーカバー・ルーフラインニングなど)を一時的に取りはずす必要がありますので、ご了承ください。
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスをふくなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーはがし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
 - ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お車をお買いになった販売店に確認してください。
 - ・ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

はり付ける際の留意点

一度はり付けると、フィルムの破損や粘着力は弱くなるため、はり直しできません。必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してからはり付けてください。

- 必ずフロントウインドウの指定の位置・寸法内にはり付けてください。
(右記参照)
 - ・保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みのうえ、正しくはり付けてください。
 - ・車体の側面(ドアやフロントクォーターウインドウなど)や、後面(リアウインドウなど)にはり付けると、受信感度が低下する場合があります。※保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。
- アンテナを接続する機器(テレビやチューナーなど)の説明書も併せてご覧ください。
- ガラス面が乾かないうちはり付けしないでください。エレメントがはり付かなくなります。
- はり付け場所の水分、ホコリ、油、ワックス等をきれいにふきとってください。ケーブルクランパー、電源ボックスはり付け部もふきとってください。
- フロントウインドウ(内側)の汚れ(ごみ、油など)や、くもり止めをふきとってください。
- はくり紙やフィルムをはがした後は、はり付け面に手をふれないでください。フィルムアンテナの透明シート、電源ボックスの固定シート、ケーブルクランパーのはくり紙をはがした後は手をふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。
- フィルムアンテナのフィルムやアンプのはくり紙をはずした後は、エレメント端子などに手をふれないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。

■ ◀取扱注意▶ について

本製品は、可能な限り破損しにくい設計になっていますが、フィルムアンテナという製品の性質上、やむを得ず十分な強度が得られない個所があります。本書では、そういった個所を ◀取扱注意▶ で示しています。

このマークの個所は、絶対に、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじるなどしないでください。破損の原因になります。

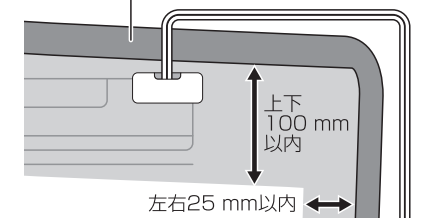
■ はり付ける位置について

- 保安基準に適合させるため、また、性能を十分に発揮するために、必ず下記の位置にはり付けてください。
- 左ハンドル車にはり付ける場合も、下図のとおりにはり付けてください。(左右逆にはらないでください。)
- 他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナから本機を10 cm以上離してはり付けてください。
- フロントガラスに、すでにフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。(指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。)

■ はり付け許容範囲(■部)について

アンプ部は、必ずはり付け許容範囲内にはり付けてください。はり付け許容範囲外にはり付けると、国土交通省の定める保安基準に適合しません。

セラミックライン(ウインドウの黒い縁)の上にはり付けしないでください。



点検シールなどに重ねないでください。

本機



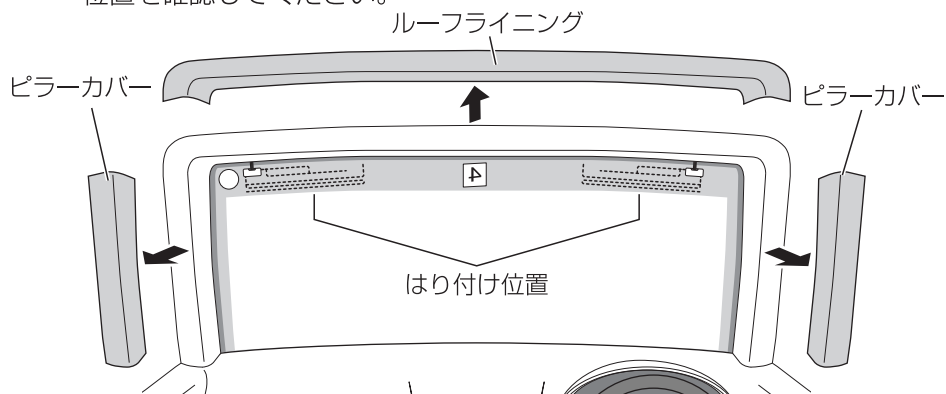
- 室内のはり付け場所に一度フィルムアンテナをセット(市販のテープなどで仮固定)して、お使いのカーラジオやカーテレビにノイズ等の支障がないかあらかじめ確認してください。ノイズが入る場合はアンテナの位置をずらしてください。

フィルムアンテナのはり付け

1 はり付け位置の確認

本説明書の表面に記載の「はり付ける際の留意点」を参考に、フロントガラスへのはり付け位置を決め、はり付け面をクリーナー（付属）できれいにふきとります。（ガラスが乾かないうちははり付けしないでください。エレメントがはり付かなくなります。）

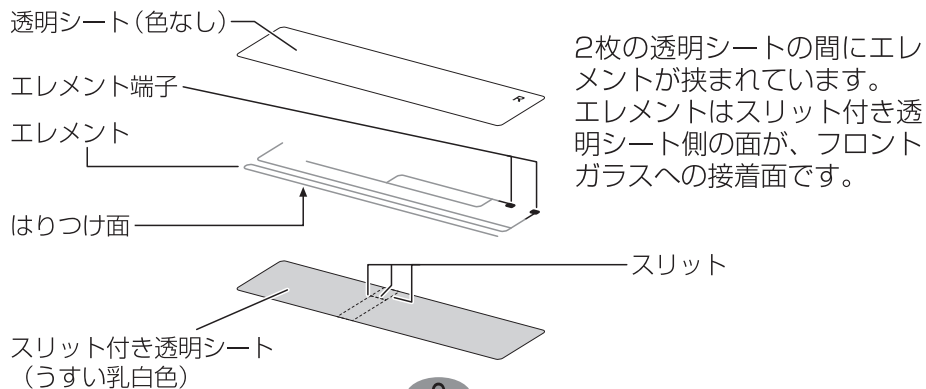
- 内張り（ピラーカバー・ルーライニング）を取りはずして、はり付け位置を確認してください。



- 実際の配線を想定して、フィルムやコード類を市販のテープで仮止めして、エレメントやアンプなどがはり付けられることを確認してください。フィルムのはり直しはできませんので、必ず行ってください。

2 はり付けの準備

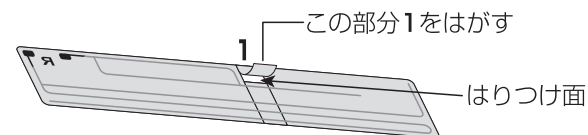
- フィルムアンテナは左右へそれぞれ、はり付けますが、本書では右側へのはり付けを例にとり説明しています。（フィルムアンテナに左右の区別として英語の LとRを印字してあります。）



9

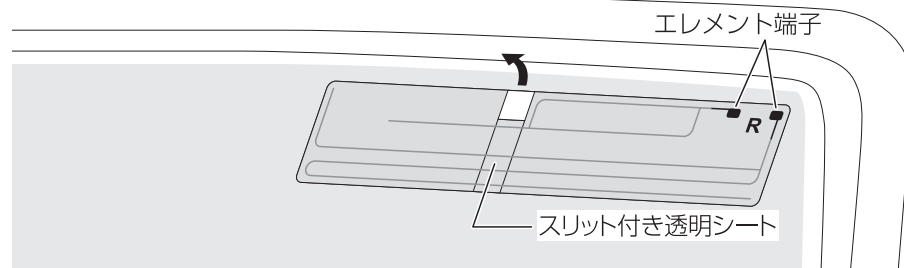
3 フィルムアンテナをフロントガラスにはり付ける

- ① スリット付き透明シート中央飛び出た部分1のスリットからはがします。

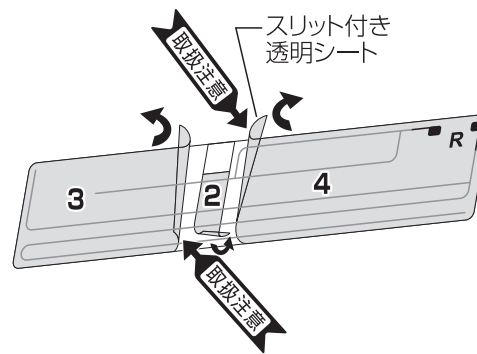


※スリット付き透明シートを上にした図

- ② フロントガラスの内側から透明シート(色なし)中央飛び出た部分の接着面をはり付けます。



- ③ スリット付き透明シートの残りの部分をはがしながら透明シート(色なし)をフロントガラスに密着させます。(2-3-4の順番ではがします。)はがすときはエレメントが透明シート(色なし)側に残っていることを確認しながらゆっくりとスリット付き透明シートをはがします。エレメントがスリット付き透明シート側に残る場合は、スリット付き透明シートを元に戻してエレメント上を強くこすり、再度はがしてください。



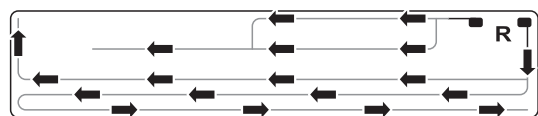
- 透明シート(色なし)をはり付けるときは、空気が入ったり、しわが寄ったりしないように注意して、ゆっくりと中央からはしに向かってはり付けます。

お願い

- スリット付き透明シートを強く曲げたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがありますので、取り扱いに気を付けてください。

10

- ④ 全面をはり付けた後、エレメントを強く押さえてエレメントをガラスに密着させます。

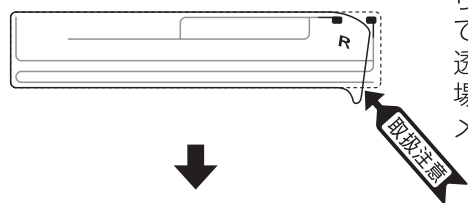


- 矢印のようにエレメント上を強く押さえてください。

お願い

- エレメント部分の押さえが不足すると、透明シート(色なし)をはがすときにエレメントがはがれる恐れがあります。念入りに押さえてください。ただし、エレメント以外の部分は、次の工程ではがしにくくなるので、あまり密着させる必要はありません。エレメントを中心に強く押します。指で押すことが困難な場合は樹脂ヘラ(市販)などを使用してください。
- はり付けた状態で車の外側からエレメント上に空気が残っていないことを確認してください。空気が残っている場合は、その部分の空気を押し出してください。

4 透明シート(色なし)をはがす



透明シート(色なし)のはしからゆっくりと、エレメントがガラス面にはり付いていることを確認しながらはがします。透明シートと共にエレメントもはがれる場合は再度透明シートをはり付けてエレメント上を強く押してください。



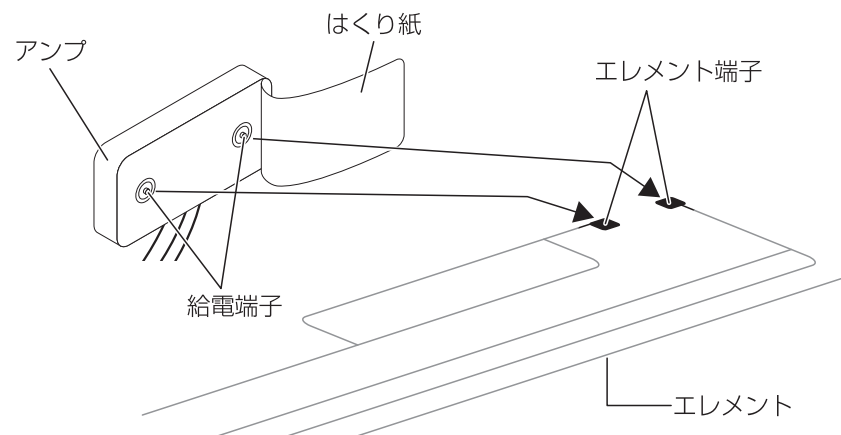
エレメントだけが残る

お願い

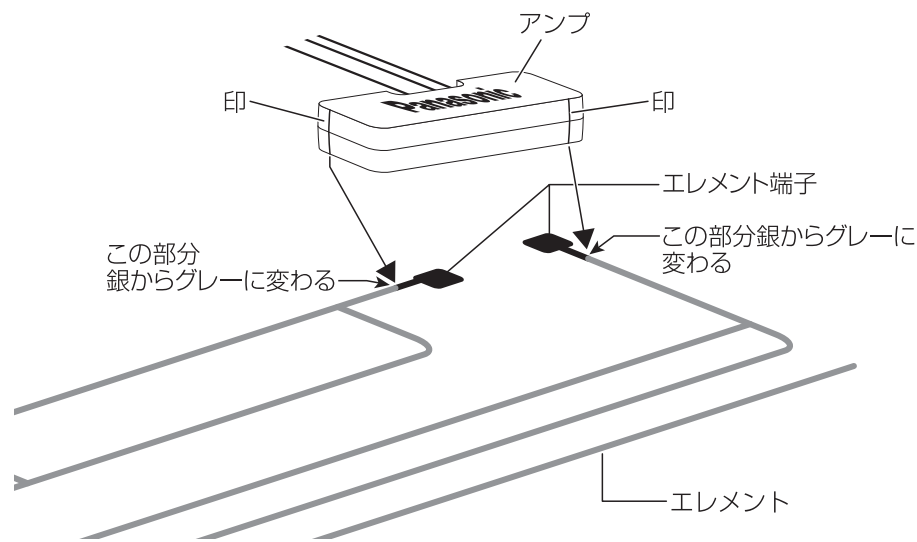
- 透明シート(色なし)を急にはがすとエレメントが断線する恐れがありますので、ゆっくりとはがし、取り扱いに気をつけてください。

5 アンプをエレメントにはり付ける

- ① 右側用のアンプのはくり紙をはがし、アンプの給電端子の位置とエレメント側の接触部(エレメント端子)を確認してください。



- ② アンプをエレメントにはり付ける際の位置決めとして、アンプ側面2カ所の印(下図)とエレメント部分で色が変わる部分(下図：銀色からグレー色)を目安としてアンプをはり付けてください。

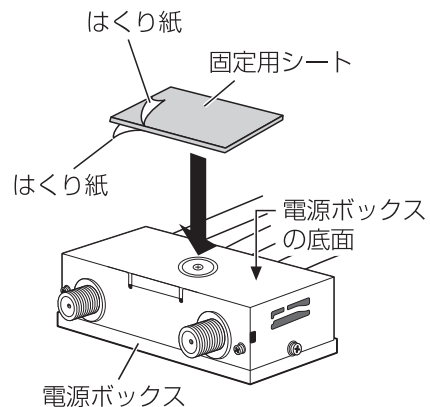


電源ボックスの取り付け

運転操作の支障のないところに電源ボックスを取り付けてください。

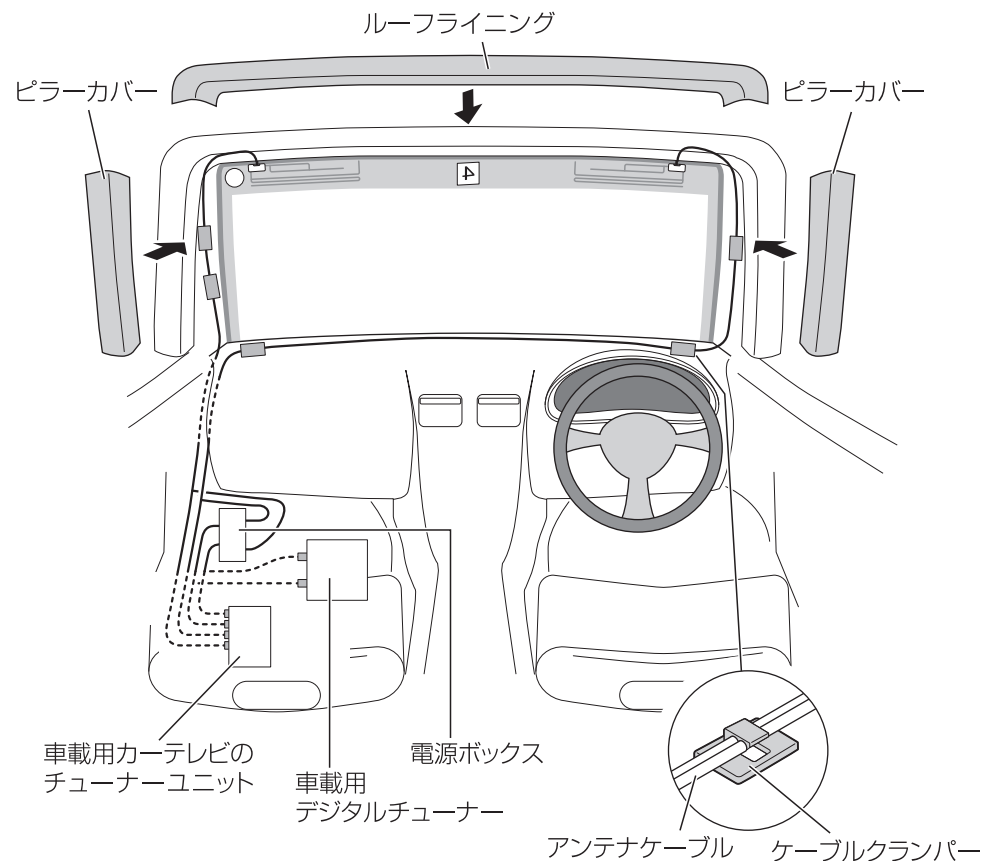
電源ボックスの固定

- ① アンテナ本体と当社製車載用カーテレビのチューナーユニットと車載用デジタルチューナーを接続できるように、取り付ける場所を決める。[アンテナ本体のケーブル（電源ボックスへ接続）は7.0 m、電源ボックスの電源コードは約1.5 mです。]
- ② 電源ボックスの底面と電源ボックスを取り付ける面のホコリ、汚れ等をふきとる。
- ③ 固定用シートの片側のはくり紙をはがし、電源ボックスの底面にはり付ける。
- ④ 固定用シートの反対側のはくり紙をはがし、電源ボックスを取り付ける。



ケーブルの引きまわしかた

■ 車室内から見たウィンドウ側のケーブル処理

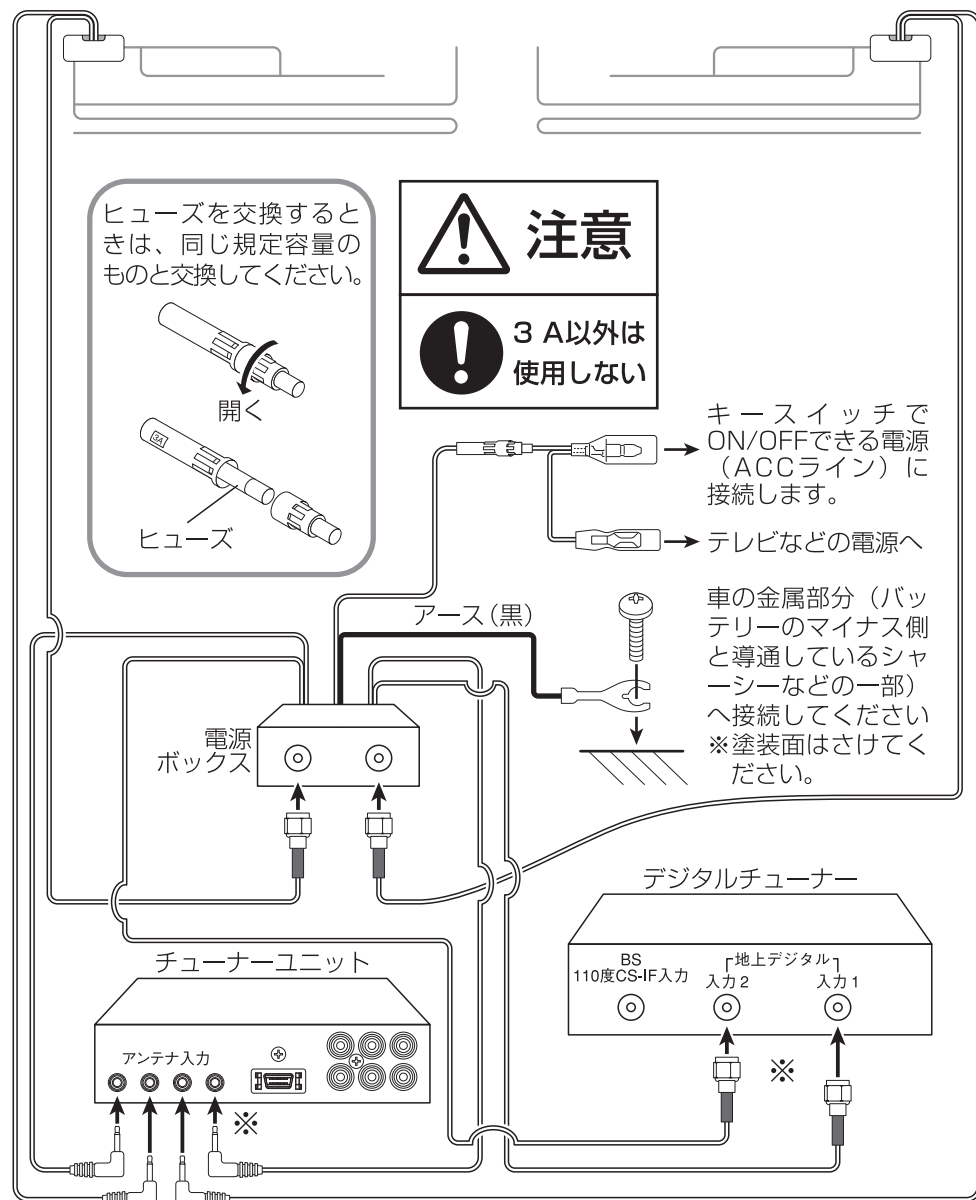


- 図を参考にしてケーブルの配線を行ってください。
- 配線したあとに内張り（ピラーカバー・ルーフライニング）をもとに戻してください。

お願い

- ケーブルはふまれたり、はさまれたりしない所を通し、ケーブルクランパーや市販のテープで固定してください。また、ケーブルのたるみなどは束ねて固定してください。（いすを前後に移動してもケーブルが破損しないよう、ケーブルを引き回し、固定してください。）

接続のしかた



※ チューナーユニットのアンテナ入力端子へのプラグの接続は、どの端子に差し込んでもさしつかえありません。また、デジタルチューナーの入力1・2端子への接続もどちらに差し込んでもさしつかえありません。ただし、必ず入力1・2の二つに差し込んでください。

仕様

■ アンテナ部

受信チャンネル	VHF : ch1~12 UHF : ch13~62
出カインピーダンス	75 Ω
はり付け場所	フロントウインドウ
外形寸法	横幅34.0 cm・高さ10.0 cm

■ アンプ部

消費電流	160 mA
利得	VHF : 10 dB以上 UHF : 7 dB以上
周波数範囲	76 MHz~770 MHz
ケーブルの長さ	L側 : 7.0 m (アナログ)、7.0 m (デジタル) R側 : 7.0 m (アナログ)、7.0 m (デジタル)

■ 電源ボックス部

使用電源	DC 12 V
外形寸法	60.3 mm (幅) × 25.6 mm (高さ) × 43.2 mm (奥行き)
ケーブルの長さ	L側 : 1.5 m (アナログ)、1.5 m (デジタル) R側 : 1.5 m (アナログ)、1.5 m (デジタル)
電源ケーブルの長さ	プラス線側 (赤) 1.5 m アース線側 (黒) 1.0 m

質量 約 850 g (一式)

※ 仕様および外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更する場合があります。